

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月09日

計画の名称	原駅周辺地区における交通結節点の機能強化												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和06年度 (3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市												
計画の目標	<p>原駅町沖線は、乗降客数約4,700人(H26)のJR原駅を起点として国道1号を経て県道原停車場線にリンクする幹線道路で、市の西の玄関口として中心的な役割を担っている。</p> <p>第11次沼津市交通安全計画で策定されたバリアフリーに配慮した駅前広場整備を行い、誰もが安全で容易に原駅周辺を移動することができるよう、交通結節点としての機能強化を図るものである。</p> <p>また、先行して整備されている市内鉄道駅前広場(沼津駅・片浜駅)と合わせて、沼津市内の駅前広場整備率を向上させ、駅から駅へ、駅から周辺地区への移動を容易にし、移動困難者の市内移動可能範囲の拡大を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	84	A	84	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R6末
1	歩行空間の改善(原駅北口地区における移動困難箇所を減らす。)			
	歩行空間の改善(原駅北口地区における移動困難箇所を減らす。)	3箇所	箇所	1箇所
	歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消(原駅から原地区センターまで)			
2	沼津市内の鉄道駅にバリアフリーに配慮した駅前広場を整備する。			
	沼津市内の鉄道駅にバリアフリーに配慮した駅前広場を整備する。	2箇所	箇所	3箇所
	整備済駅数(総駅数4駅のうち)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)原駅町沖線(駅前 広場)	駅前広場整備 A=2,700m2	沼津市						84	-	
												小計						84	
												合計						84	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部審査会（各部長、まちづくり統括監で構成される審査体制）による評価を実施し、とりまとめた原案をもとに、沼津市公共事業評価監視委員会（有識者3名、公募委員2名による審査体制）による評価を実施。	令和6年9月
	公表の方法
	評価完了後、市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消（原駅から原地区センターまで）</p> <p>【目標値】 3箇所 1箇所 【実績値】 3箇所 1箇所</p> <p>駅前広場整備 沼津市内の鉄道駅の駅前広場整備数・整備済駅数（総駅数4駅のうち）</p> <p>【目標値】 2箇所 3箇所 【実績値】 2箇所 3箇所</p> <p>計画に位置付けられた原駅北口地区における移動困難箇所は解消され、歩行者が安全・安心に通行できる空間が整備された。令和5年3月の原駅前広場の供用開始により、沼津市内の鉄道駅のバリアフリーに配慮した良好な歩行空間の整備が拡充・推進された。さらに、駅前広場整備と同時整備した無電柱化事業により良好な景観が確保された。本事業により、原駅周辺における安全・安心な空間整備・景観形成が推進された。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>本事業と合わせて静岡県が進める県道原停車場線の道路改良事業（歩道の整備・無電柱化）により、地震等による電柱倒壊等の道路閉塞が解消され防災性能の向上が図られたほか、良好な景観形成や歩行者の安全で快適な通行空間の確保が図られた。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>「歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消（原駅から原地区センターまで）」の残り1箇所は、現状、グリーンベルトの設置により歩行者通行空間を明示し安全対策が講じられている。引き続き、道路の利用状況等を鑑みて、関係者（公安委員会・教育委員会・地元等）と調整の上、対策方法を検討する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	1箇所
	最終実績値	1箇所
2	最終目標値	3箇所
	最終実績値	3箇所